

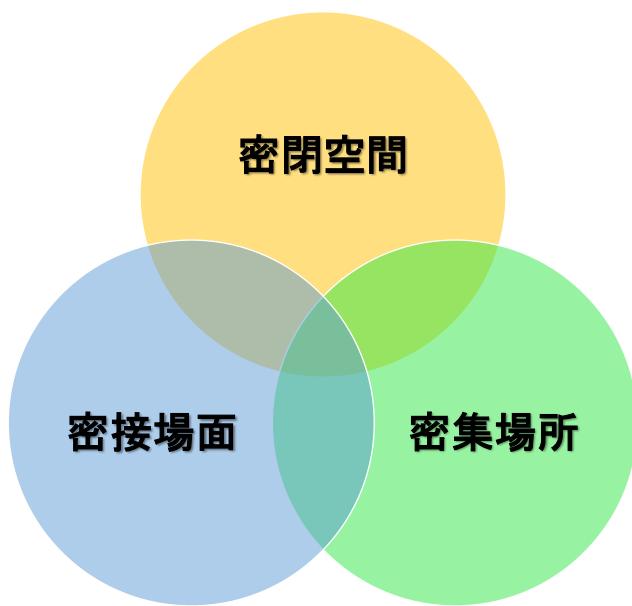
クラスター発生予防のための 高齢者施設・障害者施設における 感染対策



北九州市立八幡病院

感染管理認定看護師 中川 祐子

クラスター発生の要因



クラスター発生を予防するには

- ◎ ウイルスを持ち込まない
- ◎ 感染者の早期発見
- ◎ 濃厚接触者を出さない

ウイルスを持ち込まない

- ◆ 検温および健康チェック
 - * 職員は管理者が確認
 - * 利用者の体調不良を早期に発見
- ◆ マスク着用
- ◆ 履物交換後の手指衛生

職員用通用口も
忘れずに



体調不良者の早期発見

- ◆ 利用者の検温および健康チェック
- ◆ 体調不良時は、できるだけ個室対応とする
- ◆ 他の利用者との接触を避け、飛沫・接触感染対策をおこなう
- ◆ 利用エリアの環境消毒をおこなう
- ◆ 職員の場合は出勤を控える

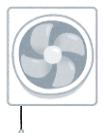
クラスターが起こりやすい場所 (3密になる場所)

- 食堂/デイルーム
- 浴室/脱衣所
- 送迎バス
- 職員休憩室
- 職員更衣室

食堂/デイルームでの感染対策

- ・対面を避ける
- ・時間をずらす
- ・換気をする
- ・食事前後の手指衛生、テーブルの清掃・消毒
- ・食事介助時は目を防護する

飛沫が一番飛びやすい場所
一番感染リスクが高くなる



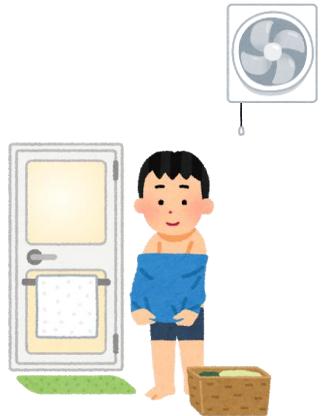
レクリエーションでの感染対策

- ・参加者は手指衛生とマスクを着用する
- ・対面を避ける
- ・少人数のグループに分ける
- ・大声を出したり物を共有するような活動は避ける
- ・使用した机や物品等の清掃・消毒をする



浴室/脱衣所での感染対策

- ・時間を調整し、脱衣所での密を避ける
- ・距離を2~3m开ける
- ・換気をする
- ・脱衣所の清掃・消毒をする



送迎车での感染対策

- ・乗車人数をなるべく減らす
- ・窓を開けて換気をする
- ・乗車前に体調確認をする
- ・乗車時は手指衛生とマスクを着用する
- ・使用後は清掃・消毒をする



こんなところにも注意！

- ・消毒薬の濃度管理ができていない
⇒環境消毒には次亜塩素酸ナトリウム濃度では0.05%
- ・トイレ掃除やオムツ交換を手袋だけでおこなっている
⇒使い捨てエプロンを使用する
- ・アルコール誤飲防止のためどこにでも設置できない
⇒個人持ちを検討しましょう
- ・職員の休憩室が密になっている
⇒時間をずらす、会議室などを利用し密にならない工夫を

施設でも新しい生活様式を

- ◆ テーブルなどの配置の変更
- ◆ レクリエーション内容の変更
- ◆ デイサービス等で外部との関わりがある方と施設内で生活している方のエリア分け
- ◆ 業務手順の変更

